



Itoigawa Geopark

糸魚川ジオパークだより

Itoigawa Geopark Newsletter

No.3

日ましに春めいてくる3月！

だんだんと暖かくなり、春らしくなってきました。

引き続き、ジオパークを巡る定期観光バス「糸魚川ジオま〜る号・親不知冬浪漫」は3月28日ま

での土・日・祝日に運行中です（お申込は糸魚川バス ☎025-552-0180）。日本海の荒波が身にしみる！糸魚川でしか満喫できない、力強い大地とその豪快な景観はジオパークそのものです！

ジオパークの研究と教育



第1号では、世界ジオパークに認められるための点検項目（自己評価表）があること、第2号ではジオパークの保護活動について紹介しました。今月号では、ジオパーク活動の3つの柱の一つ「教育・研究」活動についてみていきましょう。

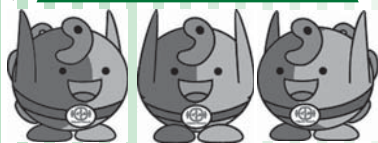
ジオパークになくてはならない3つの要素

ジオ
ツーリズム

教育活動

保護活動

地域振興へ



糸魚川市民＝
歴史・文化の生き証人＝お宝

糸魚川は世界ジオパークに認定され、また多くのメディアでも取り上げられています。興味をもった国内外からのお客さんが、皆さんの家の近くを歩いていても全くおかしくありません。

あなたはあある晴れた日に、家の近くを散歩していました。そんなあなたに観光客らしき人が近づいて来ました。「糸魚川ジオパークの魅力を教えてください！」と期待に満ちた目で聞いてきたではありませんか！さてどうしよう・・・ここでの外れなことを言えば、その人はがっかりして再び糸魚川に来てくれないかもしれません。逆に「ここが素晴らしいよ」と自信を持って答えればどうでしょう…？

つまり、市民一人ひとりが糸魚川ジオパークの魅力を知っていて紹介できることが糸魚川ジオパークを成功させる鍵の一つなのです！

糸魚川ジオパーク 活動の記録 (3月10日現在)



Itoigawa Geopark

- 2月11日 講演 男鹿半島講演会（秋田県男鹿市）
- 2月12日 視察 佐渡市（フォッサマグナミュージアムほか）
- 2月12日 講演 上小見老人クラブ
- 2月14日 講演 天草御所浦ジオパーク（熊本県天草市）
- 2月16日 勉強会 糸魚川ジオパークを活かすシリーズ8
- 2月17日 視察 兵庫県豊岡市議会（フォッサマグナミュージアム）
- 2月18日 講演 私立保育園理事長・園長交流研修会
- 2月20日 特別展 佐渡金銀山を世界遺産に（フォッサマグナミュージアム）

- 2月20日 講演 能生地域消費者協会
- 2月22日 講演 榊笠原建設安全協会の
- 2月23日 講演 根知地区公民館（第2回）
- 2月25日 講演 糸魚川鉄工業組合
- 2月27日 イベント 糸魚川駅レンガ車庫撮影会（～28日）
- 3月6日 講演 地域づくりフォーラム
- 3月7日 講演 能生谷地区公民館
- 3月9日 研修会 糸魚川ジオパーク推進市民の会研修会

糸魚川の魅力を知るポイントは、研究と教育にある。

糸魚川の魅力を知る…研究と教育には、たとえば次のような活動があります。

○糸魚川について、みんなの知らないこと、みんなに知ってもらいたいことがあれば、地域や学校のイベントで発表したり、チラシや本を作ってみる。

○糸魚川の化石や石、文化や歴史について興味があれば、どんどん調べてその結果をみんなに教える。また、みんなの意見を聞いてみる。

○共通の興味をもつ人々でネットワークをつくり、協力・アドバイスしあって勉強・研究をする。



糸魚川ジオパーク
マスコットキャラクター
ぬーな

みなさんが興味を持っていること、研究してみたいことがあれば、博物館の学芸員は喜んで相談にのります。

世界ジオパークの一員として大切なのは、どんな小さなことでも継続的に調べて勉強し、それを外に向けて発表することです。

薬石の模様が面白い、祭りが何種類あるか知りたい、植物や動物について研究したい・・・このような興味はすべて、糸魚川の魅力を知る素晴らしい研究に繋がり、世界に一つしかない魅力ある糸魚川ジオパークを作り上げる“もと”となるのです！



糸魚川ジオパーク
マスコットキャラクター
ジオまる

次号では、ジオパークを発展に導くカギである「ジオツーリズム」について紹介します。

ジオパークを商品開発や観光に生かしていこうと、2月2日、ヒスイ王国館で、事業者のための勉強会「みんなでジオパークを盛り上げよう」が開かれ、97人の参加がありました。

講師は、フォッサマグナミュージアムの宮島宏学芸員。

ないものねだりではなく「ある

ものさがし」をして、ジオパークをいかにビジネスに結びつけるか—例えば長崎県島原半島の「溶岩焙煎ばいせんコーヒー」や、福島県会津の温泉の塩を羊羹ようかん・キャラメル・ラーメン等様々な商品に使用している例を取り上げて、ジオパークを切り口に、糸魚川ジオパークのオリジナル商品開発へ繋がるアイデアを紹介しました。

糸魚川ジオパークを生かす方法の一つとして、ロゴマークと、マスコットキャラクター“ジオまる”・“ぬーな”の活用を推進しています。

商品や広告に使用する場合、市役所ジオパーク推進室に申請していただければ、無料で使用できます。この機会にぜひ、ジオパークブランド力を利用して商品知名度や価値を高めていきましょう！



問合せ 企画財政課 ジオパーク推進室 ☎ 552-1511